

24 期物一分科会、提言 WG 設置提案に関するメモ

文責：川村光

23 期物一分科会の提言「物性物理学・一般物理学分野における学術研究の発展のために」および 23 期学術会議“学術研究推進のための研究資金制度のあり方に関する検討委員会”の提言「学術の総合的発展と社会のイノベーションに資する研究資金制度のあり方に関する提言」をベースに、厳しい国際情勢に置かれた現代の我が国が抱える多くの困難な諸問題に対し、学術・サイエンスとしてどのような貢献が出来るか、我が国の将来を支えるに足る、基礎から応用（実用化）までを包含したような仕組みをどのように作り上げるか、物性物理学・一般物理学をその舞台として、様々な具体的な可能性を探り、提案する。

#### 一 現代日本が抱える課題

産業構造の転換への対応と新しい産業の創出、高齢化への対応、厳しい財政状況への対応、地方の活性化と東京一極集中の是正、多様化・複雑化する国際情勢への対応、、、

#### 一 基礎から応用までを総合的に統合

基礎から応用・実用化までを統合するような仕組み、個々の研究者はそれぞれの得意とするところで活動するにしても、国全体としてそれらがシームレスに統合されるような研究活動と政策決定の仕組みを、中長期的な視点から提案。学術サイドと社会との間のポジティブな相互作用の構築、それをベースとした我が国の生き残りと将来の発展へ向けて。

#### 一 寛容かつ骨太な中長期的な視点に立って

##### \*政府の観点、方針：

本年6月に政府は、経済成長を加速するための戦略として「統合イノベーション戦略」を策定予定。“総合科学技術・イノベーション会議“における安倍首相（議長）の発言（2017・2・16 読売新聞）「基礎研究から社会実装まで一貫通貫の戦略が必要」「基礎研究を産業につなげるための大学改革が必要」。

→ 基礎と応用・実用化の間の真の関係と時間スケールを本当に理解しているのか、大きな危うさを感じる。下手をすると、大学のさらなる疲弊をもたらすだけで、我が国の抱える大問題の解決には資することがない展開となる可能性も高い。

##### \*物一分科として：

基礎と応用・実用化を、より広汎な観点から捉え、政府の方針に対する代案（場合によってはアンチテーゼ）を、まずは物一分野を対象に、物理学の基盤に立ちつつ、具体的な形で提案することを目指す（1つに案を絞る必要は必ずしもなく、様々な選択肢の提案でも良い）。将来的には、物一を超えたより広い分野（物理学他分野、総合工学（応用物理）、化学、工学、地球科学、、、等）への展開、連携も視野に入れて。